

# HRK ホロクリンJell

■東北除染化 ☎0776-51-7155  
http://www.horokurin.co.jp

■価格：2100円(税込み) ■容量：100g

マフラー  
みがき



成分には「研磨材、油剤、洗剤剤、粘結剤、安定剤等」と書かれているものの詳細は不明。ステンレス用のほかにはチタン用もあり、こちらは100g9150円(税込み)。変革のマフラーの素材に合わせたものを買い求めください。



ホロクリンJellには、塗るのに便利なハケや磨き用のクロスが同梱される。ほかに水を用意する必要があるので、やりたいと思ったときにすぐ作業にかかれるのがうれしい。

## ものすこわかりやすい

ぐっと面がエキパイの半分だけ磨いてみると、ほんの数秒で茶色く焼けただけがなくなり、マフラー本来の色と輝きを取り戻してました。



茶色く焼けただけ、もし1回できずにはならないようなら、再度塗って、再度磨くとさらさらしい。



同じく付属のクロスで軽くこすると、ひよよしぬけるくらいに簡単にびかびかになる。これにはびっくり。



作業前と比較するためにマスキングテープで区切り、半分だけにホロクリンを付属のハケで薄く塗っていく。

## PROGRESS



## 担当者のホンネ

めちやめちやカンタン一かどう  
聞いたこともない製品だったの、半年ほど使ってみただけだ。その効果は「ハンド」掃除のときに「ちょっと試して」と軽く試しただけで効果を感じてしまった。作業の途中に掃除機のように思ったカマラン氏に叱られるくらいでした。

# マフラーについてしまった 焼錆もあつというまにピカピカ

「北陸濾化」という会社も存知だろうが、たぶん一般的なら「タイマーで聞き覚えのある人はいないのでは」かと思ふ。ちなみにB.M誌面にも初登場、福井県鯖江市にある北陸濾化の主な業務は「化学工業薬品の製造・販売」であり、もともと「ホロクリン」はさまざまな金属の切削後に使う金属表面処理剤だ。眼鏡のフレームなどの仕上げ工程でよくいふ部分を磨かし、材料を洗い出すのに使われていた。

ステンヤチタンなどの酸化皮膜をよびバリの処理剤であるホロクリン、実は自動車のエンジンにも使われているらしい。組み上がったエンジンにはどうしても細かな部品くずが生ずるので、早めの初回オイル交換で除去する必要があるのだが、組み上げる段階で化学処理することで部品くずを取り除いてしまおうのだという。

このホロクリンJellを届けたのは、S.P.車道上野店(☎03・384

5・2000)でのごと。全店長が「2輪業界ではほとんど知られていませんが、エンジンがいて使ってます。さすがにお客さんみなさんよるこんでますよ」というので、さっそく使ってみることに。

使い方はいたって簡単。①ホロクリンを付属のハケで混ぜる②マフラー全体についていないように③少しだけ放置④①②③を繰り返す⑤さびかびかと、とにかく手軽。まったく手を汚さずに、マフラーだけ綺麗に仕上がりました。真つ黒く焼けてしまったようなものはずですが1回ではきれいにならないもの、それでも数回繰り返すだけで製品の輝きを取り戻せました。マジでおすすり。